

単元名 長さ

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 巻尺の仕組みや使い方を理解し、身の回りの長さを測定することができるとともに、kmについて知り、簡単な長さの計算をすることができる。
 (2) 長さの量感を身に付け、それを根拠にいろいろな長さを予想することができる。
 (3) 計器のよさに関心をもち、mやkmの単位で長さを表すなどして、身の回りの長さを測定しようとする。

標準的な展開例

03040201_001

【準備等】巻き尺、ストップウォッチ

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 巻き尺を使って身近なものの長さを測定しよう。[p. 98・p. 99]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の学習課題をつかむ。 ★長さのはかり方や長い長さについて調べていこう。 ○教室の縦と横を測る。 ○校庭の木の周りの長さを測る。 ○いろいろなところの長さを予想してから測る。 <p>2 図を基に道のりを考える。[p. 100]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校からゆうとさんの家までの道のりを考える。 ○kmについて知る。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★kmを使って道のりを表そう。 ○1200mをkmを使って表す。 ○「練習問題」に取り組む。 <p>3 資料を基に道のりを加減の計算で求める方法を知る。[p. 101]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★長さの計算のしかたを考えよう。 ○あすかさんの家から学校を通って、駅までの道のりを考える。 ○2つの道のりの違いを求める方法を考える。 ○加減の「練習問題」に取り組む。 ○教科書の地図を基に問題を作成し、それを解き合う活動をする。 <p>4 100mの道のりを歩き、それを利用しておよその道のりを予想する。[p. 102]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ストップウォッチで時間を計りながら、100mの道のりを歩いてみる。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★100mの道のりを歩いてかかった時間をもとに、いろいろな道のりの長さを予想して調べよう。 ○身近な道のりを予想する。 ○「練習問題」に取り組む。 <p>5 単元を振り返り、確認問題に取り組む。[p. 103]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「たしかめよう」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものの長さについて、目測で見当を付けさせ、適切な計器を使って測定させる。 ・身長計を思い浮かべせたり、巻き尺を見せたりして、1mより長いものへの興味・関心を高めさせる。 ・巻き尺のよさ（長い距離が測定できる・丸い物の周りが測定できる）に気付かせるために最初に1mものさしで測らせるのもよい。 【評】測定する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ペアやグループに分かれて計測させる。 ・測定物は自分たちで考えさせ、測定前に目測で長さの見当を付けさせてから測定させる。 ・既習事項であるmを使って計算させる。 ・1km=1000mであることを理解させ、kmを使うことによって、より小さい数字で道のりを表すことができることを確認する。 ・1000を基にして、1000とその端の数に分け、kmとmを使って道のりを表す方法を伝える。 ・3km50mをmに直す問題では、空位の0に注意して取り組ませる。 【評】kmやmで表す活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・必要に応じてkmとmの単位換算ができるようにさせる。 ・地図や学校からの道のりを表した資料を提示し、問題内容を把握させる。 ・教科書の表から必要な道のりを求めさせ、加法で求めさせる。 1km500m+600mの全体をmにする方法や、mの部分だけを計算する方法があることを確認する。 ・どれだけ遠いかという問題文から減法を使えばよいことを確認する。 ・単位をmに換算してから計算するとよいことに気付かせる。 ・答えが1000mを超える場合は□km△mで答えるようにさせる。 【評】加減の計算問題を解く活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・問題ができたなら、隣同士で問題を交換してお互いの問題を解かせる。 ・次の活動につなげるために、普段の歩く速さで歩かせるようにする。 ・距離を計測する道具や人工衛星を使って道のりを調べるGPSなどの機器があることを知らせる。 ・確かめる活動では、インターネットなどを活用するとよい。 ・本時で活用した100mや既習の1m、10cm、1cmを確認しながら問題を進めるとよい。 【評】適切な長さの単位を当てはめる活動を通して、「知識・技能」を理解する。 ・個別指導を通して、単元の学習内容の定着を図る。 ・自己評価をし、不十分なところは教科書で振

○学習の振り返りを書く。

り返らせる。
【評】問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。
・長さについて分かったことやできるようになったこと、もっとやってみたいことなどを書かせる。

【 備 考 】

本単元では、児童の身近な生活との関連を考慮して、巻き尺を使って身の回りのものの長さを測ったり、図や地図上の道のりを計算で求めたりする学習を行う。その後、100mの道のりを実際に歩く体験を行い、100mを基にして、運動場1周や、家から学校までの道のりを予想する学習などを行い、距離に関する量感をつかませるようにする。